



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月5日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	13,548	6.4	1,251	18.3	2,081	229.1	1,408	44.8
2021年3月期第1四半期	12,735		1,058		632		972	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 211百万円 (86.1%) 2021年3月期第1四半期 1,519百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	30.91	
2021年3月期第1四半期	21.02	

(注) 当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	123,110	54,912	44.5	1,207.44
2021年3月期	121,860	56,152	45.9	1,225.09

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 54,734百万円 2021年3月期 55,985百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		17.00		17.00	34.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	13.6	2,100	31.4	2,200	68.3	1,500	8.0	33.00
通期	60,000	13.7	4,800	38.1	4,800	49.6	3,300	5.0	72.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率及び対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	53,119,190 株	2021年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期1Q	7,788,464 株	2021年3月期	7,420,461 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	45,583,769 株	2021年3月期1Q	46,274,694 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、135億48百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益につきましては、営業利益12億51百万円（前年同四半期比18.3%増）、経常利益20億81百万円（前年同四半期比229.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億8百万円（前年同四半期比44.8%増）となりました。経常利益以下の増益は、売上の増加に加え、英ポンド・ユーロなどの欧州通貨に対するスイスフラン安の進行に伴い、多額の為替差益が発生したことによるものです。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場では、2021年4月に実施された薬価の中間改定の影響を受け、売上は前年同四半期を僅かながら下回る結果となりました。また、海外市場においても、北欧など一部の国で販売が低調に推移し、全体として売上は減少いたしました。炎症性腸疾患治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましては、国内外において価格改定の影響を受けましたが、全体ではほぼ前年並みとなりました。また、昨年度11月にAstellas Pharma Europe Ltd.より欧州・中東などにおける製造販売権を承継したクロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、すでに欧州主要国での承継手続きが終了し、売上に大きく貢献しております。なお、昨年9月より国内にて販売を開始した鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」につきましては、消化器科・産婦人科を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、82億59百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

昨年度売上が減少した「ヘパリーゼ群」につきましては、いまだ外出自粛措置・インバウンド需要の減少などの影響を強く受けてはおりますが、ドラッグストア・薬局・薬店向け医薬品ヘパリーゼ群・コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに回復基調にあります。「コンドロイチン群」につきましても、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり、売上は増加いたしました。一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」や、殺菌消毒薬などの衛生用品につきましては、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、52億53百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は36百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,231億10百万円となり、前連結会計年度末対比12億50百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が398億45百万円で、前連結会計年度末対比25億31百万円の増加、固定資産が832億65百万円で、前連結会計年度末対比12億80百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加6億36百万円、受取手形及び売掛金の増加11億2百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加7億90百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少6億7百万円、投資その他の資産の減少3億90百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は681億98百万円となり、前連結会計年度末対比24億90百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が556億37百万円で、前連結会計年度末対比18億40百万円の増加、固定負債が125億60百万円で、前連結会計年度末対比6億50百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の増加7億53百万円、短期借入金の増加12億14百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加3億23百万円、繰延税金負債の増加等固定負債のその他の増加3億2百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は549億12百万円となり、前連結会計年度末対比12億40百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上14億8百万円、前期末配当の実施7億76百万円、自己株式の増加7億61百万円、その他有価証券評価差額金の減少7億11百万円、為替換算調整勘定の減少3億53百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.4%低下し、44.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高、営業利益は概ね計画通りの進捗、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は為替差益の発生により計画を上回る進捗となりました。第2四半期以降につきましても、医療用医薬品事業におきましては、ディフィクリア、フェインジェクトなどが堅調に推移し、引き続き業績に寄与する見込みであり、また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、ヘパリーゼ群、コンドロイチン群などの主力製品が回復基調にあるため、売上高、営業利益はほぼ計画通りと予想しております。また、為替の動向につきましては、先行き不透明な部分も多いため、現時点で2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,793,938	10,430,615
受取手形及び売掛金	13,635,627	14,738,373
有価証券	3,032	3,023
商品及び製品	5,969,887	6,655,933
仕掛品	1,504,855	1,400,833
原材料及び貯蔵品	3,629,263	3,837,530
その他	2,916,210	2,861,456
貸倒引当金	△138,662	△82,376
流動資産合計	37,314,152	39,845,390
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,138,269	7,012,118
土地	12,350,879	12,352,954
その他（純額）	4,145,133	3,986,003
有形固定資産合計	23,634,282	23,351,076
無形固定資産		
のれん	6,429,153	6,324,190
販売権	27,950,633	27,345,243
その他	7,690,024	7,792,708
無形固定資産合計	42,069,811	41,462,142
投資その他の資産		
投資有価証券	5,915,274	5,653,430
退職給付に係る資産	12,453,878	12,316,608
その他	510,876	519,232
貸倒引当金	△37,835	△37,139
投資その他の資産合計	18,842,193	18,452,132
固定資産合計	84,546,287	83,265,351
資産合計	121,860,440	123,110,741
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,693,938	2,447,885
短期借入金	44,158,858	45,373,059
未払法人税等	562,594	516,335
賞与引当金	1,268,150	1,040,078
その他	6,113,932	6,260,352
流動負債合計	53,797,474	55,637,711
固定負債		
長期借入金	5,819,600	6,143,500
契約解除損失引当金	281,160	272,577
退職給付に係る負債	1,308,891	1,341,489
資産除去債務	55,578	55,649
その他	4,445,061	4,747,223
固定負債合計	11,910,291	12,560,441
負債合計	65,707,766	68,198,152

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	46,353,650	47,075,177
自己株式	△14,997,702	△15,758,744
株主資本合計	49,634,467	49,594,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,448	△574,519
為替換算調整勘定	2,599,199	2,245,680
退職給付に係る調整累計額	3,614,155	3,468,017
その他の包括利益累計額合計	6,350,802	5,139,178
非支配株主持分	167,402	178,457
純資産合計	56,152,673	54,912,588
負債純資産合計	121,860,440	123,110,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	12,735,843	13,548,962
売上原価	3,876,258	4,250,003
売上総利益	8,859,584	9,298,958
販売費及び一般管理費	7,801,549	8,047,156
営業利益	1,058,034	1,251,802
営業外収益		
受取利息	1,557	1,893
受取配当金	172,836	146,822
為替差益	—	731,333
その他	49,877	28,102
営業外収益合計	224,271	908,152
営業外費用		
支払利息	59,037	69,921
為替差損	573,768	—
その他	17,138	8,648
営業外費用合計	649,944	78,570
経常利益	632,361	2,081,384
特別利益		
固定資産売却益	—	3,719
投資有価証券売却益	1,331	—
債務取崩益	674,306	—
特別利益合計	675,638	3,719
特別損失		
固定資産除却損	597	2,061
特別損失合計	597	2,061
税金等調整前四半期純利益	1,307,402	2,083,041
法人税等	335,456	671,324
四半期純利益	971,946	1,411,717
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△817	2,760
親会社株主に帰属する四半期純利益	972,764	1,408,956

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	971,946	1,411,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	502,923	△711,968
為替換算調整勘定	116,229	△341,790
退職給付に係る調整額	△71,203	△146,137
その他の包括利益合計	547,950	△1,199,896
四半期包括利益	1,519,896	211,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,522,306	197,332
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,410	14,488

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間より、株式会社ゼリアアップは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、新たにTillotts Pharma Italy s.r.l.を設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、得意先に支払われる販売奨励金等について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から減額する方法に変更しております。また、将来予想される返品については、従来、売上総利益相当額に基づき返品調整引当金を計上しておりましたが、変動対価に関する定めに従って、販売時に収益を認識しない方法に変更しております。当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

- (1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと
- (2) 当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に含まれる変動対価の額について、変動対価の額に関する不確実性が解消された時の金額を用いて比較情報を遡及的に修正すること

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は595,794千円減少し、売上原価及び返品調整引当金繰入差額は合計で2,205千円増加し、販売費及び一般管理費は595,983千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,016千円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は50,629千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債に表示していた「返品調整引当金」48,674千円及び「売上割戻引当金」77,210千円は、流動資産の「その他」に1,103千円、流動負債の「その他」に126,988千円組替えております。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,548,365	5,149,482	12,697,847	37,995	12,735,843	—	12,735,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47	47	114,211	114,259	△114,259	—
計	7,548,365	5,149,530	12,697,895	152,207	12,850,102	△114,259	12,735,843
セグメント利益	1,197,082	1,059,959	2,257,042	66,571	2,323,613	△1,265,579	1,058,034

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,265,579千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,259,396	5,253,131	13,512,527	36,435	13,548,962	—	13,548,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	48	144,342	144,390	△144,390	—
計	8,259,396	5,253,179	13,512,575	180,777	13,693,352	△144,390	13,548,962
セグメント利益	1,546,240	986,126	2,532,366	68,596	2,600,963	△1,349,161	1,251,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,349,161千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの売上高及び利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の売上高及び利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	8,259,396	9.4
コンシューマーヘルスケア事業	5,253,131	2.0
報告セグメント計	13,512,527	6.4
その他	36,435	△4.1
合計	13,548,962	6.4

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。